

令和6年4月11日

国立大学法人筑波大学

学 長 永田 恭介 殿

筑波大学附属病院

病院長 平松 祐司 殿

筑波大学附属病院監査委員会

令和5年度第2回 筑波大学附属病院監査委員会報告について

筑波大学附属病院監査委員会規則第2条第1項に基づき実施した監査委員会の方法及びその結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法

筑波大学附属病院の医療安全管理体制及び特定臨床研究における業務の状況について、ヒアリングを行った。

- ・実施日時 令和6年3月18日（月） 18時00分～19時10分
- ・実施場所 ZOOMによるオンライン会議
- ・出席者 <委員>

柳田委員長、宮本委員、陰山委員、重田委員、村上委員、小池委員
<病院対応者>

原病院長、檜澤副病院長、平松副病院長、和田臨床医療管理部長、
本間薬剤部長、山本臨床工学部長、中島放射線部長、
古田 ISO・医療業務支援部長、大原医療情報経営戦略部長、
荒川機構長、佐藤病院総務部長

2 監査の内容

- (1) 医療安全管理責任者業務報告（檜澤副病院長）
- (2) 臨床医療管理部業務報告（和田臨床医療管理部長）
- (3) 医薬品安全管理責任者業務報告（本間薬剤部長）
- (4) 医療機器安全管理責任者業務報告（山本医療機器管理センター部長）
- (5) 医療放射線安全管理責任者業務報告（中島放射線部長）
- (6) IC 管理責任者業務報告（古田 ISO・医療業務支援部副部長）
- (7) 診療録管理責任者業務報告（大原医療情報経営戦略部長）
- (8) 治験・臨床研究の実施状況報告（荒川機構長）
- (9) 臨床研究中核病院チェックリスト（荒川機構長）

3 監査の結果

医療安全管理体制及び特定臨床研究における業務の状況について、管理者等からの説明聴取及び資料閲覧の方法により報告を求め、検証したところ、特段の是正措置はなく、適正な運営がなされているものと判断する。

以下について、講評及び意見とする。

- 緊急ＣＴの検査結果確認状況調査報告について、緊急ＣＴの開封ボタンが表示されないシステム上の問題は、次期統合医療情報システムで解消される見込みであることから、システム稼働後、緊急ＣＴの既読率の経緯をフォローの上、報告していただきたい。
- 人工呼吸器の回路接続間違いを防止するための病院の対応について、評価できる。なお、タスクシフトが進む中で、例えば、医師が回路の組み立ての誤りに気づけない等、習熟度に極端な差が生じないように対策を講じていただくと良いと考える。
- 臨床研究の不適合報告について、十分に注意していただく必要があり、チェックリストの使用や担当モニターの確認だけでなく、ダブルチェックや第三者の確認を経るなど、検討いただくと良いと考える。
- 2024 年度からの医師の働き方改革を踏まえ、研究時間の確保がますます厳しくなる医師が増加することが想定されるため、引き続き、機構による研究支援の充実や研究マインドの醸成に努めていただきたい。

以 上